

Ph.D study in the U.S.A

岡本純一 (Columbia University)

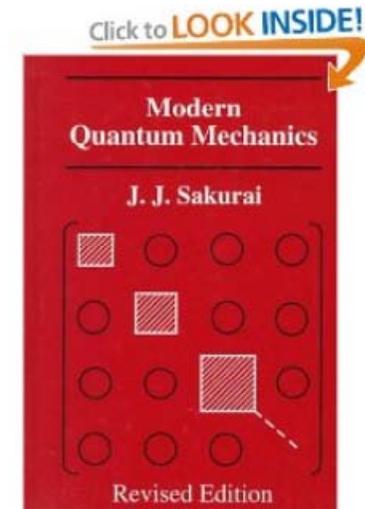
自己紹介

- 所属：
 - コロンビア大学物理学科
- 学年：
 - Ph.D課程の2年目
- 出身：
 - 石田研(卒業研究)
- 専攻：
 - 凝縮系理論
 - Prof. Millisと共同研究



アメリカの理系大学院の特徴(学業面)

- 五年一貫教育(修士は殆どおまけ)
- 最初の1-2年は授業主体
 - Sakurai, Jackson, Peskin, Ashcroft-Mermin等が標準的
 - かなりAdvancedなクラスもあり
- 1-2年が終わった後に、qualifying examという試験にパスする必要有り。難易度は院試レベル。
- 入学後の専攻の変更、研究グループの移動も珍しくない



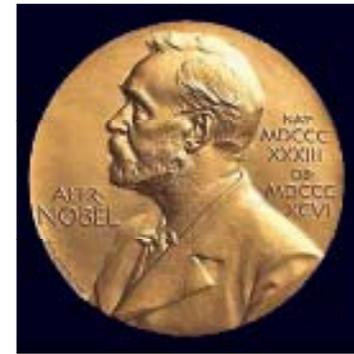
アメリカの理系大学院の特徴（生活面）

- 授業料免除が殆ど
- 生活費も支給
 - コロンビア大の物理では月20万円強
- 社会的地位の安定
 - 経済的にも自立しており、学生と社会人の中間的存在
- 留学生の割合が大きい
 - 多いところでは約半数。日本人は非常に少ない。



留学のメリットとデメリット

- 国籍、人種、年齢の異なる人と出会うことで、世界が広がる。学問でも生活でも刺激が多い。
- 英語は必然的に上手くなる
- 経済的自立が可能
- (分野にもよるが)ノーベル賞受賞者など著名な教授と接する機会が日本よりも多い。
- 物理の話題で流行が激しいのはメリットでもありデメリットでもある



入学するには



- TOEFL: 一般的な英語の試験
(Listening/Writing/Speaking/Reading)
- GRE general: ネイティブ向けの英語の試験。ひたすら英単語を覚えるべし
- GRE physics: 簡単な物理の試験。満点を狙うべし
- 推薦状/エッセイ/学部の成績/論文など

入学するには



- TOEFL: 一般的な英語の試験
(Listening/Writing/Speaking/Reading)
- GRE general: ネイティブ向けの英語の試験。ひたすら英単語を覚えるべし
- GRE physics: 簡単な物理の試験。満点を狙うべし
- 推薦状/エッセイ/学部の成績/論文など

**英語の壁さえ突破できれば、京大生
なら十分合格の可能性有り！**

最後に

- 二年前、僕が留学をした際には、前野先生をはじめ、様々な人に助けていただきました。そういった意味で、このスライドが下級生の皆さんに少しでも役に立てば幸いです。
- 応募に関しては、ここでは書ききれない情報もあるので、興味がある方は気軽にメールを送って下さい。
 - okamoto@phys.columbia.edu

Boys Be Ambitious!

and Girls



リファレンス

- Webサイト
 - 理系留学のススメ <http://jun.korenaga.com/>
 - Yale大の是永淳さんのページです
- 理学部国際交流室の鈴木在乃先生
- (国際交流センターの青谷正妥さん:直接お会いしたことはないのですが、有名な方です。)